

2012

カツオ フォーラム

in 宮古島

文・親泊裕之

さおが曲がる
かつおが空で
鳥になる

2012.10/6 土 ~ 7 日

10/6 土 2012 カツオフォーラム in 宮古島 [伊良部公民館]
講演・パネルディスカッション・パネル展示
カツオばんざい交流会 [佐良浜漁港内]
おおばんまい・民謡ショー

10/7 日 海族まつり (ハーリー大会視察・交流) [パイナガマビーチ]

2012.9/20 木 ~ 10/7 日 島まるごとカツオ祭典



主催：2012 カツオフォーラム in 宮古島実行委員会、日本カツオ学会、伊良部漁業協同組合 共催：宮古島市

10/6 (土) 会場：伊良部公民館

1. オープニングアトラクション [13:30 開始]
 伝統芸能「ミナトーマ」 佐良浜中学校
2. 開会あいさつ
 フォーラム実行委員長 宮古島市長 下地敏彦
 日本カツオ学会会長 若林良和

3. 【基調講演】
 テーマ：沖繩のカツオの価値を問う
 沖繩大学名誉教授 上田不二夫

・・・・・・休憩・・・・・・

4. パネルディスカッション
 テーマ：離島におけるカツオ漁業のこれから
 ～持続可能な展開に向けた地理的不利性の克服と人材確保～

コーディネーター：受田浩之（高知大学教授）
 パネリスト：長崎節夫（沖繩大学客員教授）
 漢那一浩（カツオ船「第五喜翁丸」船長）
 平安山良修（本部漁業協同組合長）
 久塚智明（株式会社FBTプランニング代表取締役）
 川満清隆（株式会社かわまん商店代表取締役）

5. 【特別講演】
 テーマ：カツオ万歳
 ～カツオ漁業を舞台にしたふるさと物語～
 前宮古島市教育長 川上哲也
6. 宮古島大会宣言 宮古島市副市長 長濱政治
7. 大会旗継承
 宮古島市から日南市へ
8. 閉会あいさつ 伊良部漁業協同組合長 友利義文

※カツオばんざい交流会 [佐良浜漁港内] 17:30 開始

10/7 (日) 会場：パイナガマビーチ

海族まつり（ハーリー大会視察・交流）



会場へのアクセス
 宮古空港→平良港：車で約10分
 平良港→佐良浜漁港：高速船約15分
 佐良浜漁港→伊良部公民館：車で約5分

プロフィール

■若林良和(わかばやしよしかず)
 愛媛大学南予水産研究センター副センター長。カツオ産業文化や「ぎょしょく教育」を中心に幅広く研究。日本カツオ学会会長、地域漁業学会会長。

■上田不二夫(うえだふじお)
 沖繩大学名誉教授。専門は水産経済学。「産業振興」をキーワードに、カツオ節から泡盛、ファッションに至るまで、その研究対象は多岐にわたる。日本カツオ学会運営委員。

■受田浩之(うけだひろゆき)
 高知大学教授・副学長。農学博士。日本カツオ学会副会長。食品分析学の第一人者として、食品の品質に関わる成分の分析法の開発等、多数の研究に取りくんでいる。

■長崎節夫(ながさきせつお)
 沖繩大学客員教授。沖繩水産高校教員を経て、パラオ、サイパン等でカツオ・マグロ漁業に従事。現在はビトゥンで、沖繩とインドネシアを結ぶ活動を行う。

■漢那一浩(かんなかずひろ)
 伊良部・佐良浜在住。「第五喜翁丸」船長として、伝統のカツオ一本釣り漁法を守り続ける。これまでの一日当たりの最高記録水揚げ量は6トン。

■平安山良修(へんざんりょうしゅう)
 本部漁業協同組合・代表理事組合長。本部町役場に35年勤務した後、本部漁協代表理事に就任。本部町の漁業振興に力を尽くしている。

■久塚智明(ひさつかともあき)
 株式会社FBTプランニング代表取締役。日本カツオ学会副会長。富士通総研顧問、沖繩大学客員教授、九州大学客員教授。農学博士、技術士。一次製品の付加価値化を通じて地域活性化を推進し、各地で講演、執筆等の活動を展開。

■川満清隆(かわみつきたか)
 株式会社かわまん商店代表取締役。沖繩県水産物の流通システムの構築や、地域産業の資源活用等、新しい試みで、地域産業の活性化を目指している。

■川上哲也(かわかみてつや)
 「カツオ万歳！一池間島カツオ風土記」著者。池間島出身。宮古市内の中学校長を歴任。愛媛大学大学院在学。

◆お申込み・お問い合わせは、電話・ファックス・Eメールでお願いします。
 カツオフォーラムin宮古島実行委員会事務局 (担当 金城)
 〒906-8501 沖繩県宮古島市平良字西里187番地
 電話(事務局専用) 080-3377-0920
 fax 0980-75-0058
 Eメール：info@ogoe.co.jp